

人文學報

CII

京都大學
人文科學研究所

2012

人 文 学 報

第102号

京都大学人文科学研究所

2012年3月

目 次

日本に舶載された欧州輸出用の中国製染織品 ……………	吉 田 雅 子	1
—— 刺繍ビロード6作例の意匠と技法を中心に ——		
戦争の遺物とその移動がもたらしたもの ……………	田 村 恵 子	23
—— 日本軍特殊潜航艇シドニー湾攻撃のその後 ——		
なぜ国際関係論における宗教に注目するのか？ ……………	テイモシー・フィッツジェラルド	51
フロイトにおける必然 ……………	上 尾 真 道	65
—— 「レオナルド・ダ・ヴィンチ」論をめぐって ——		
書 評		
『啓蒙の運命』 ……………	森 元 庸 介	89
第一次世界大戦と芸術 ……………	小 黒 昌 文	93
『クラシック音楽』はいつ終わったのか 音楽史における第一次世界大戦の前後』		
『葛藤する形態 第一次世界大戦と美術』		
『表象の傷 第一次世界大戦からみるフランス文学史』		
『共同研究 ポルノグラフィー』 ……………	小 池 隆 太	101
『コンタクト・ゾーンの人文学 第I巻 ……………	深 海 菊 絵	107
—— Problematique/問題系』		
『コンタクト・ゾーンの人文学 第II巻 ……………	深 田 淳 太 郎	113
—— Material Culture/物質文化』		
『癒しとイヤラシ —— エロスの文化人類学』 ……………	上 村 淳 志	119
彙 報 (2010年1月~2010年12月) ……………		123

『人文学報』投稿規定

1. 『人文学報』は、年に原則二回刊行される学術誌で、人文科学に関する関連領域の論文、研究動向、資料紹介、書評・書評論文、講演会記録などを掲載する。
2. 『人文学報』には、所内研究者、共同研究班班員、所内の客員（国内客員および外国人研究員）、名誉教授、招聘外国人学者、外国人共同研究者、研修員、受け入れ学術振興会特別研究員が投稿できる。これ以外にまた、編集委員会が適切と判断して投稿を依頼する場合がある。
3. 本誌の論文等は原則査読の対象となる。原稿は、査読を経た後、編集委員会の責任において採否を決定する。
4. 稿料は支払われない。但し、論文、書評論文執筆者には本誌1部が無料で提供される。また抜き刷り50部が無料で提供される。
5. 著者校正は2回とする。
6. 投稿締め切りは、毎年5月末日とする。原稿は、『人文学報』編集委員会宛てに送付することとする。
7. 原稿作成にあたっては、『人文学報』執筆要領に従うこととする。
8. 他雑誌への二重投稿についてはこれを禁じる。
9. 『人文学報』に掲載された論文等について、その著者は複製権（電子化する権利）と公衆送信権（公開する権利）にかんする許諾を人文科学研究所に与えたものとする。人文科学研究所は公開の便をはかるために、京都大学が設置したサーバから掲載論文等を画像あるいはPDFなどの形式で送信することができる。
10. 図版、写真などを掲載する場合は、投稿者の責任において、あらかじめそれら図版、写真の所蔵者、著作権者から許諾を受けるものとする。

『人文学報』執筆要領

1. 使用言語は原則日本語とする。以下は日本語論文を想定した要領である。
2. 論文には、日本語（800字程度）と欧文（200語程度）の要旨を添付する。日本語のキーワードを5点記す。
3. 投稿原稿は枚数をとくに制限しないが、論文については本文12,000～48,000字を目安とする。書評・書評論文については4,000～8,000字を目安とする。
4. 原稿の表紙に、論文、研究動向、資料紹介、書評、書評論文などの区別を明記する。ただし、この点に関する最終判断は編集委員会が行う。
5. 原稿は、ソフト名を明記し、電子媒体（Eメールの添付ファイル）とその紙媒体を提出する。
6. 原稿は、A4サイズとする。
7. 図表、写真などには、それぞれ通し番号と表題を付ける。それぞれの挿入場所を、本文の右側欄外に番号で指定する（手書きでよい）。
8. 引用文献・参照文献などの形式は各専門分野の慣行に従うこととし、とくに規定しない。
9. 注は後注とし、注には通し番号をつけ、本文とは頁を改めて作成する。本文中の注は、字肩に上付きで、1）、2）などと記す。また、右側欄外に注番号を記しておく（手書きでよい）。
10. 書評、書評論文、新刊紹介などの場合には、別紙に、著者名（フルネーム）、書名（副題、シリーズ名、巻数なども含めて）、刊行地、出版社、ページ数、定価などを記す。
11. 他の言語で既に発表したものと内容が重なる場合は、その旨明記する。

『人文学報』編集委員会のアドレス zinbungakuho@zinbun.kyoto-u.ac.jp

編集委員

石井美保
籠谷直人
高木博志
立木康介
水野直樹

人文学報 第102号

(京都大学人文科学研究所紀要 第169冊)

2012年3月25日 印刷
2012年3月30日 発行

非売品

発行所 京都大学人文科学研究所
京都市左京区吉田本町

印刷所 明文舎印刷株式会社
印刷者 中村 仁
京都市南区吉祥院池ノ内町 10

THE ZINBUN GAKUHŌ

JOURNAL OF HUMANITIES

Vol. 102

MARCH 2012

CONTENTS

- Chinese Textiles Produced for the European Market :
A Study of Six Embroidered Pieces Preserved in Japan M. Yoshida
- War Relics, Their movements and some consequences :
the Japanese Midget Submarine attack on Sydney Harbour and its aftermath K. Tamura
- Why the Focus on Religion in International Relation? T. Fitzgerald
- On Necessity in Freudian Thought :
A Reading of the Article on Leonardo Da Vinci M. Ueo
- Book Reviews**
- TOMINAGA Shigeki (ed.). *Vicissitudes of the Enlightenments* Y. Morimoto
- OKADA Akeo. *The End of Classical Music? : "Before" and "After" the First World War*
- KOMOTO Mari. *Conflicting Forms : Art and the First World War*
- KUBO Akihiro. *Crisis of Representation : French Literature and the First World War* M. Oguro
- OURA Yasusuke (ed.). *Pornography : A Collective Study* R. Koike
- TANAKA Masakazu and FUNAYAMA Toru (eds.).
Humanities of Contact Zones : Volume One — Problematique K. Fukami
- TANAKA Masakazu and INABA Minoru (eds.).
Humanities of Contact Zones : Volume Two — Material Culture J. Fukada
- TANAKA Masakazu. *Healing & Horniness : The Cultural Anthropology of Eros* A. Uemura

Published

by

THE INSTITUTE FOR RESEARCH IN HUMANITIES
KYOTO UNIVERSITY

ISSN 0449-0274